



健康科学部、子ども発達学部、国際福祉開発学部レポート



2008年に開設した健康科学部、子ども発達学部、国際福祉開発学部の3学部が10周年を迎えました。各学部の最新情報をご紹介しますとともに、それぞれに趣向を凝らして企画された10周年記念事業の様子をレポートします。

健康科学部

半田キャンパス

リハビリテーション医療や介護など“人”が行うケアと、福祉用具やバリアフリー住宅といった“モノ・環境”によるサポートという2方向からアプローチ。10周年の節目となる2018年4月から福祉工学科の2専攻が名称を変更し、新たに「情報工学専攻」、「建築バリアフリー専攻」が誕生しました。実践的な専門技術を身につけ、卒業と同時にプロとして活躍できる人材を養成します。

10周年イベントレポ

12/2(日)

記念講演会、各専攻・専修企画、ホームカミングデー

健康科学研究所との共催で企画された記念講演会では、「リハビリテーションと技術の融合」をテーマに、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科リハビリテーション医学の下堂蘭恵教授と、健康科学部福祉工学科の鈴木康雄助教が講師として壇上に上がりました。また理学療法専攻、作業療法専攻、介護学専攻、福祉工学科それぞれの企画イベントやホームカミングデーが行われ、濃厚な一日になりました。

記念講演会

下堂蘭氏は、ロボット技術と治療を併用して発展させていく産学連携の取り組みについて事例を交えて紹介。鈴木助教は、情報工学の観点からリハビリテーションへの応用の事例をいくつか紹介されました。



各専攻・専修企画

各専攻・専修にて企画が実施され、介護学専攻では卒業生4人がパネリストとなり、大学の学びから見てきたこと、働く中で気づいたことなどを発表しました。



多職種連携の重要性や課題がテーマに。

OB's Voice

なべた ともり
鍋田 朋典さん

健康科学部
リハビリテーション学科
2017年3月卒業



記念講演会から懇親会まですべて参加しました。卒業後も大学には何度か遊びに来ていますが、今日は仕事のヒントも得られた良い機会でした。ここで「人のために仕事がしたい」という同じ志を持った仲間と出会えたこと、そして卒業してからもこうして先生や同級生と交流できることが本当に幸せだと感じました。これからも初心を忘れず、自分のやりたいことに邁進していきたいです。

子ども発達学部

美浜キャンパス

子ども発達学部は2019年4月より学部編成を一新し、子ども発達学科は「保育士・幼稚園教諭」、「小学校教諭・中学校教諭」、「特別支援学校教諭」を養成する専攻・コース編成に。心理臨床学科は、入学後に選択する3ユニット制を導入し、「公認心理師」対応を開始します。高まる保育・教育・心理分野のニーズに応えるプロフェッショナルを育成し、卒業生を多様な領域へ輩出していきます。

10周年イベントレポ

11/3(土)

シンポジウム&ホームカミングデー

美浜キャンパスの大学祭が行われた11月3日(土)、子ども発達学部の開設10周年を記念して、「子ども・発達支援のこれまでとこれから—地域社会に貢献する活動を通して—」をテーマにしたシンポジウム&ホームカミングデー(懇親会)が実施されました。懇親会では学部の卒業生とその家族、教職員が思い出話などに花を咲かせました。

シンポジウム

シンポジストに、子ども発達学科の塩崎美穂保育専修長、橋本洋治学校教育専修長、前心理臨床学科長の堀美和子を迎え、これまでの学科・専修の取り組み、地域社会への貢献、2019年度以降の構想を話し合いました。



ホームカミングデー



美浜キャンパスの生協食堂「食家—tabena—」で懇親会をしました。



OG's Voice

おがわ みお
小川 美緒さん

子ども発達学部
心理臨床学科
2017年3月卒業



久しぶりに大学に来ましたが、先生方や在学生と交流する中で「この大学を選んでよかったな」と改めて思いました。私は今、小学校の特別支援学級の教師となり2年目。経歴は浅いですが、「特別支援教育関係の専門家」として質問を受けることが多く、大学で得た知見を職場に伝えられていることを実感し、充実した日々です。このイベントを機に、大学との交流をもっと増やしたいと思います。



国際福祉開発学部

東海キャンパス

国際福祉開発学部の学びの特色は、2年次の11月～3年次の5月まで最長6か月間のフィールドワーク、インターンシップ、留学等の取り組みをゼミやクラス教員の指導・支援の下での展開を可能とするクォーター制を導入しているカリキュラムです。この期間に選択できるプログラムは、海外協定校と連携した「グローバルフィールドインターンシップ」や産学連携先の中野国際空港をフィールドとするさまざまな就労体験を通じて国際力を養うものです。

10周年イベントレポ

10/28(日)

記念講演

開設10周年記念事業のひとつとして、10月28日(日)、「多文化共生社会にダイブする」をテーマに記念講演会が開催されました。講師にお迎えした原田氏は、エシカルの理念の普及とともに、貧困削減・環境保護など地球につながるフェアトレードの推進にチャレンジされてきました。フェアトレードタウンに認定された名古屋市のさまざまな取り組みを紹介いただきながら、これからの生き方、働き方について卒業生たちと意見を出し合いました。



フォーラム

原田さとみ氏の講演後、吉村輝彦学部長とグローバル人材として活躍が期待される卒業生を交えて、それぞれが取り組んできた活動や社会への関わり方などについて活発に議論しました。



フェアトレードとの出会いや魅力を語る原田さとみ氏

Student's Voice

かわせ まりん
川瀬 麻鈴さん

国際福祉開発学部
国際福祉開発学科 3年
岐阜県/大垣南高校出身



スタッフとして、フォーラムの司会・運営アシスタントをさせてもらいました。1ヵ月ほど前から、登壇者の皆さんと私たち運営側でFacebook上にグループを作り、自己紹介や段取りなどを投稿し合って準備を進めてきました。多彩なキャリアを積み重ねている先輩のお話を聞くことはとても刺激的で、この学部の魅力を改めて実感。この貴重な経験を自分のキャリアに活かしたいと思います。